

「本の日」ブックカバー大賞 受賞作品・受賞者一覧

賞名	作品名	作者名（ふりがな）	作者所在地	職業	作者コメント	選評	作品データ
大賞	本の木	坂口 香南子（さかぐち かなこ）	兵庫県加古川市	絵描き	本は、自分の知らなかった広い世界へ連れ出してくれる。興味はどんどん広がっていく。それはまるで、わあーと枝分かれして伸びていく大きな木みたいだなと思い、木を描きました。本を読む人の色々な感情がわあーと飛び出していきました。		
「イラストレーション」編集長賞	本の部屋	清水 あかね（しみず あかね）	東京都 ※市町村非公表	イラストレーター	「本の日」の由来が本棚に本が並んでいる様子であること、以前から本棚は小さな部屋がいくつも集まっているようだと思っていたので、タイトルを「本の部屋」として、読書する人やくつろぐ猫を描きました。そして「本の日」をみなさんに覚えてもらえたらと思い、「111」や「hon nohi」の文字を入れました。楽しんで頂けたら嬉しいです。	コンペの意図をきちんとくみ取っている作品。図案としても面白い、さりげなく文字や数字が描かれていることにも面白みを感じた。絵の質感も魅力的だ。（「イラストレーション」編集長 竹内 康彦氏）	
「芸術新潮」編集長賞	切前の幻想	飯島 帆南美（いひしま ほなみ）	新潟県長岡市	学生	本の日は読者だけでなく、作品を私達に届けてくれる作者のものでもあって考えて制作しました。たくさんの金魚はこの作品の主人公である作家さんの頭の中の物語や想像をイメージしたものです。本棚に並ぶ本の配置が1箇所だけ11/1の並びになっているところがポイントです。	浮世絵的な絵のおもしろさがある。金魚の配置の仕方が大胆で良い。本を読む側でなく、本を書く側の作家に視点をあてた発想もユニークで魅かれる。（「芸術新潮」編集長 吉田 晃子氏）	
「アイデア」編集長賞	わくわくがはじまる	おのばね	広島県呉市	会社員	主にシンプルになるように、心掛けました。また幼い時に、何時間も本を読んで何度も新しい世界に驚き、わくわくした記憶を思い出して描きました。知らない知識や、新しい世界がたくさん詰め込まれている本達の魅力を伝えられるようなブックカバーデザインになったと思います。	画面を最大限に使った構図が印象的だが、本に巻かれた時のバランスもよかった。トキメキやドキドキなど、読書の際の高揚感が伝わってくるイラストも魅力的。（「アイデア」編集長 西 まどか氏）	
「美術手帖」編集長賞	たすけてたすけてたす...	有延 和磨（ありのべ かずま）	兵庫県多可郡多可町	アルバイト	活字には魔力があります。	「うさぎとかめ」の話を思い出した。本を読むのは時間がかかるけど、コツコツ読書することで最終的にはうさぎに勝つ、といいな。シンプルながらも想像が膨らみました。（「美術手帖」編集長 岩淵 貞哉氏）	